



ぶんきょう 区議会だより

第202号

令和4年(2022年)1月1日発行 編集・発行 文京区議会 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 電話(3812)7111(区役所代表) (5803)1312(区議会)

文京区議会ホームページアドレス <https://www.city.bunkyo.lg.jp/kugikai>

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます



写真：「カメラ目線」第59回文京区観光写真コンクール 準特選「文京区議会議長賞」
撮影：津布久 郁夫さん

賀詞：田中 としかね議長筆「賀正」

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------------------|----------------------|------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
|
①のぐち けんたろう
自民党・無 |
②吉村 美紀
自民党・無 |
③松平 雄一郎
自民党・無 |
④宮本 伸一
公明党 |
⑤宮崎 こうき
創 |
⑥宮野 ゆみこ
市民の広場 |
⑦沢田 けいじ
文京みらい |
⑧小林 れい子
日本共産党 |
⑨金子 てるよし
日本共産党 |
⑩浅川 のぼる
自民党・無 |
⑪佐藤 ごういち
自民党・無 |
⑫山田 ひろこ
自民党・無 |
|
⑬市村 やすとし
自民党・無 |
⑭田中 香澄
公明党 |
⑮西村 修
永久の会 |
⑯上田 ゆきこ
創 |
⑰浅田 保雄
市民の広場 |
⑱海津 敦子
文京みらい |
⑲たかはま なおき
文京子育て |
⑳萬立 幹夫
日本共産党 |
㉑関川 けさ子
日本共産党 |
㉒田中 としかね
自民党・無 |
㉓海老澤 敬子
自民党・無 |
㉔名取 顕一
自民党・無 |
|
㉕白石 英行
自民党・無 | |
㉖岡崎 義顕
公明党 |
㉗松丸 昌史
公明党 |
㉘高山 泰三
永久の会 |
㉙山本 一仁
永久の会 |
㉚品田 ひでこ
創 |
㉛田中 和子
市民の広場 |
㉜松下 純子
文京みらい |
㉝国田 久美子
日本共産党 |
㉞板倉 美千代
日本共産党 | |

顔写真

議席番号 氏名
所属党派 (略称)

令和4年の年頭にあたり、文京区議会を代表いたしましたして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より区議会の活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から2年が経過しました。この間、集団接種会場の運営をはじめ、区民の皆さまの生活支援事業や厳しい経営環境にある事業者の皆さまへの支援など、新型コロナウイルス感染症対策に必要な文京区の補正予算案を審議、可決し、時機を逸することなく文京区としての意思決定を行ってまいりました。今後も、感染拡大防止と社会経済活動の両立や区民生活の安心・安全の確保など、ウィズコロナ社会において、区民の皆さまの信託にしっかりと応えてまいりたいと思っております。

私たち区議会は、区民の皆様一人おひとりの幸せを願い、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、多くの声に耳を傾け、鋭意議論を重ねてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が、喜びにあふれる年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

文京区議会議長 田中 としかね



文京区議会議長
田中 としかね



文京区議会副議長
山本 一仁

新年のご挨拶

- 2月定例議会は、2月8日(火)から開かれます。詳細な日程は、2面に掲載しております。
- 議案・委員会資料、請願は、ホームページでご覧になれます。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例などを可決

今定例議会では、職員の給与に関する条例など区長提出の10議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、委員会提出の意見書1件を可決しました。

11月定例議会

議会期間 11月9日から12月3日までの25日間

本会議第1日(11月9日)

*区長提出の4議案及び請願6件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。

本会議第2日(11月11日)

*代表質問(市民の広場、文京みらい、永久の会……)

本会議第3日(11月12日)

*代表質問(文京子育て、自民党・無、日本共産党……)

本会議第4日(11月15日)

*代表質問(公明党、自民党・無……)

11月16日～11月30日

*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

本会議第5日(12月3日)

*委員会提出の意見書1件を可決しました。

*区長提出の4議案を付託委員会に付託し、可決しました。

*区長提出の追加6議案の審査を総務区民委員会、文教委員会に付託し、いずれも委員会の決定どおり可決しました。

審議した案件

▽区長提出案件
 条例………6件(可決)
 事件………4件(可決)
 △委員会提出案件

請願

◇は継続審査分()は付託委員会採択となったもの
 ○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について
 意見書の提出に関する請願 (総務区民)
 (他に同趣旨の請願1件)
 不採択となったもの
 ○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願 (総務区民)
 ○消費税率5%への引き下げとインボイス制度中止を求める請願 (総務区民)
 ○安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための請願 (厚生)

委員会提出案件

可決した意見書 1件
 ◎固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書
 東京都知事宛て

令和3年11月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

付託委員会	議案番号	件名	○賛成 ×反対 ()は、議長を除く出席議員数										結果
			自(10)	共(6)	公(3)	市(3)	み(3)	創(3)	永(3)	子(1)			
区長提出議案													
条例	総務区民	29	文京区長及び副区長給与条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		30	文京区教育委員会教育長の給与及び勤務に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		31	文京区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		32	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
		33	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
事件	総務区民	25	特別区人事及び厚生事務組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		26	文京区立森鷗外記念館の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○		
		27	文京区営住宅等の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○		
		28	文京区立少年自然の家八ヶ岳高原学園の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○		
		委員会提出議案											
意見書	総務区民委1	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

令和4年 2月定例議会日程

月日	開会時間	会議名等	月日	開会時間	会議名等
2月8日(火)	9:30	議会運営委員会	3月2日(水)	10:00	総務区民委員会
	14:00	本会議 [施政方針(生中継あり)・付託]	3月3日(木)		議会運営委員会
2月9日(水)	14:00	本会議 [一般質問(生中継あり)]	3月7日(月)	10:00	本会議 [中間議決]
2月14日(月)			3月8日(火)	10:00	予算審査特別委員会
2月15日(火)			3月9日(水)		
2月16日(水)	3月10日(木)				
2月17日(木)	3月11日(金)				
2月18日(金)	3月14日(月)				
2月21日(月)	10:00	議会運営委員会	3月22日(火)	10:00	議会運営委員会
2月22日(火)	10:00	厚生委員会	3月24日(木)		15:00
2月25日(金)	10:00	文教委員会			
3月1日(火)	10:00	建設委員会			

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件
 ◎職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 職員の期末手当について、年間の支給月数を0.15月分、職員のうち再任用職員については0.05月分引き下げるものです。
 ※全ての議案は、左記の「議案に対する議決結果と各会派の賛否」に掲載しています。

幹事長の変更について

●会派名：公明党文京区議団 (令和3年12月10日付け)

役職名	氏名
幹事長	旧 田中香澄
	新 岡崎義顕

熊本県のくまモン部長が本区議会を表敬訪問しました

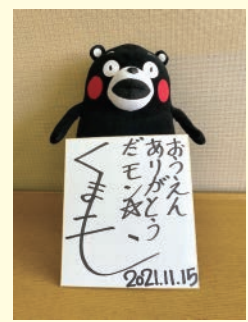
11月15日、昨年7月の熊本県を襲った集中豪雨時に、文京区議会が届けした災害見舞金のお礼として、熊本県の「営業部長兼しあわせ部長」のくまモン部長が本区議会にお越しになりました。「おうえんありがとうだモン☆」の色紙も頂き、議場で記念写真を撮影したのち、田中議長、山本副議長らと、しばし懇談しました。



▲くまモン部長より色紙を受け取る田中議長



▲議場で記念撮影



▲くまモンからの色紙 ©2010 熊本県くまモン

右記のQRコードから各ホームページをご覧ください。

●インターネット議会中継
 一般質問の生中継のほか、録画中継が視聴できます。(録画中継公開後7日程度で字幕付き映像視聴可能)

●議案の審議結果

●請願の審議結果

代表質問(要旨)



市民の広場 田中 和子



文京みらい 海津 敦子



永久の会 高山 泰三

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

コロナ感染拡大の検証を

問 区民の様々な意見も踏まえ、感染症との向き合い方とリスク管理についてどのような検証をされたのか、改善点を含む今後の戦略について伺う。
区長 策定中の「保健・医療提供体制確保計画」に基づき、保健所体制や医療機関等との連携強化と、都の医療・療養体制の活用により、切れ目なく対応可能な体制を構築する。

高齢者の3回目ワクチン接種は予約方法の改善を

問 高齢者の予約は、ある年齢以上は日時指定や、年齢を細かく区切った予約など、実施方法について伺う。
区長 予約の負担・不安を解消するため、接種日時・会場を指定し、事前にお知らせすることを検討している。



「児童生徒の問題行動・不登校調査」について

問 不登校・自殺者が多くなど、コロナ禍が子ども達の生活に変化を与えたとの報告をどう受け止め、望ましくない影響にどう対応するか、伺う。
教育長 休校等による生活リズムの乱れ、交友関係を築きにくい状況等が要因と考える。子どものSOSの出し方の教育、受け止める教員の受容力を高める研修を進める。

教育委員の存在意義は

問 昨年度の臨時一斉休校は、教育長・事務局のみで検討し、区長と協議し決定。休校は子どもの学ぶ権利・居場所に関わる重大な決定だが教育委員はどの程度関与したのか。
教育長 極めて限られた時間での判断が求められたため、休業対応と並行する形で、教育委員に情報提供した。

明化小・柳町小新校舎エレベーター設置場所について

問 車椅子の子どもは、階段を使う子どもたちと動線を分けられて遠回りを強いられる。子どもたちに「障害のある人は遠回りしてもしょうがない」と刷り込むような設計について、考えを伺う。
区長 整備する施設の諸条件に応じて、総合的に判断し、計画していると認識している。



公文書作成の本気度は検討いつまで続くか

問 「国民共有の知的財産」である公文書について、昨年、適正な管理を行うと区長は答弁しているが改善されておらず、答弁は絵に描いた餅と言わざるを得ない。現状をどう捉えているか、伺う。
区長 文書作成基準の具体的定めがないため全庁的な基準を定める方向で検討している。

経済、社会を立て直すための攻めの予算を

問 緊急事態宣言も明け、日本も文京区も動き出すなかで、予算編成方針の緊縮的トーンを改め、経済、社会を立て直すための攻めの予算を求める。
区長 景気動向等、社会状況の変化が見られた際には、年度途中であっても積極的な予算措置を行う。

リバウンド防止措置の法的根拠について

問 緊急事態宣言が解除されてもなお、リバウンド防止措置で時短要請を行うのは、公権力の行使を法により規制する立憲主義の観点から疑問を感じるが、区の見解を伺う。
区長 法に基づき適切に実施していると認識している。なお、要請内容は専門家の意見を踏まえた上で、都対策本部会議において決定されている。

地域活動の再開について

問 イベント主催者が開催判断の勇気を持っていないか、区が積極的に祭りや文化活動開催を推奨、率先垂範して実行すべきと考えるが、伺う。
区長 区では感染症対策を徹底した上で可能な限り事業を実施しており、区民が安心して活動再開するための模範となるよう取り組む。



全校でオンライン出欠を

問 不登校児や病欠時の保護者負担軽減のため全校でのオンライン出欠の実施を求める。
教育長 未実施の学校には実施済の実例紹介などで支援を行い、来年度1学期始業時までに全学校で実施する予定。

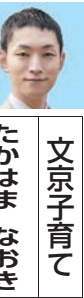
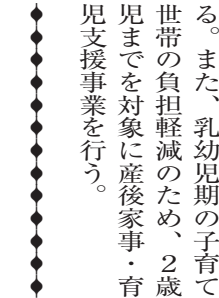
災害対策は避難所重視から在宅被災生活に転換を

問 災害時に命が守られることを目指し、家具転倒防止事業だけでなく、住宅耐震補強、省エネなど多岐にわたる事業にワンストップアドバイザーを派遣する形の支援を求める。
区長 多岐にわたる事業をリーフレット等にまとめ、在宅避難促進を強化する。アドバイザー派遣は研究課題とする。

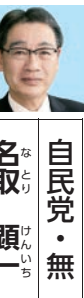


ベビシッター利用料助成制度の改善を

問 子育て訪問支援券と比較して利用時間が減り、書類の煩雑化や償還払いの負担が課題。都への要望など改善を求める。特に産後ケアとして家事援助が継続できるように、区の負担で支援を求める。
区長 都への要望を含め、使いやすくなるよう適切に対応する。また、乳幼児期の子育て世帯の負担軽減のため、2歳児までを対象に産後家事・育児支援事業を行う。



文京子育て たかま なおき



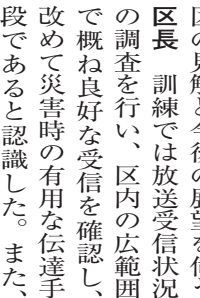
自民党・無名取 顕一

人と人をつなげる取組を

問 コロナ禍による孤立化が危惧されるが、各団体が人と人をつなげる取組を進めることが、地域の様々な課題に気付き、解決に向けた地域力向上に寄与すると思われるが、伺う。
区長 地域福祉向上のため、社会福祉協議会と緊密な連携を図り、地域の必要な情報交換の場を広げることで、区民の安心につなげていく。

臨時災害FM放送局について

問 本年7月に本番さながらの開演訓練が行われたことを大いに評価するが、その成果について伺う。また、放送が終了している放送大学の周波数を本区で活用できれば、災害時の情報伝達にも十分に効果を発揮するものと思われるが、区の見解と今後の展望を伺う。
区長 訓練では放送受信状況の調査を行い、区内の広範囲で概ね良好な受信を確認し、改めて災害時の有用な伝達手段であると認識した。また、放送大学の周波数活用に向けた国との協議を始めている。



3回目接種の改善方法は

問 3回目ワクチン予約について、特に高齢者には配慮する必要があると思うが、予約方法の改善について伺う。
区長 予約の負担・不安を解消するため、接種日時・会場を指定し、事前にお知らせす



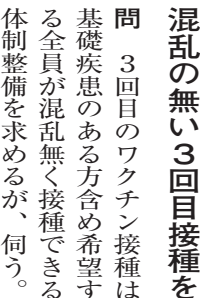
自民党・無田 久美子

子どもがボールを使える場所を

問 子どもの体力増進のため、教育の森自由広場で放課後に子どもがボールを使えるよう検討いただきたいが、伺う。
区長 球技実施は他の利用者の安全確保のため、安全管理者配置等の対策が必要。指定管理者との連携を含め検討する。

STEAM教育の実施を

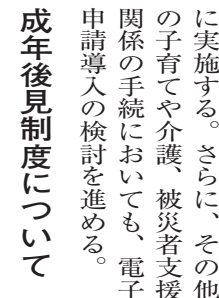
問 今後、建て替える幼稚園、小学校はSTEAM教育に対応可能な環境や施設整備を考えたいただきたいが、伺う。
教育長 施設整備の際には、民間の研究成果等を参考に、先進的事例の導入を研究する。STEAM教育：理数教育に創造性教育を加えた概念。



自民党・無吉村 美紀

混乱の無い3回目接種を

問 3回目のワクチン接種は、基礎疾患のある方を含め希望する全員が混乱無く接種できる体制整備を求めるが、伺う。
区長 1、2回目の接種と同様、集団接種会場を開設し、土日・夜間の接種も可能となるよう調整を進めている。



無料PCR検査の大規模実施を

問 「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」の立場で大規模検査を行うよう国に求め、区としても駅や薬局での検査キット配布等、無症状でも気軽に検査できるように求める。
区長 把握した接触者にPCR検査を行うとともに、感染リスクの高い状況の方の相談に応じるなど、引き続き必要な支援を行う。また、検査体制の強化等については区長会を通じて国へ要望している。



日本共産党 板倉 美千代

女性のデジタル人材育成を

問 区内商店街でのキャッシュレス化を推進する事業として、女性のデジタル人材育成の活用はどうか、伺う。
区長 ご提案を含め様々な取組を検討すべきと考える。女性の就労支援のため、セミナー開催やデジタル分野のスキル向上への支援等を検討する。



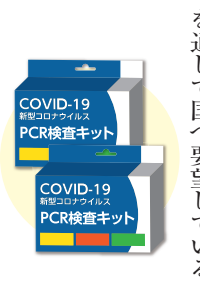
公明党 松丸 昌史

マンション居住者の在宅避難支援強化を

問 区では感染症対策のため、在宅避難の推奨を行っているが、マンション居住者への支援等を強化する必要があると思うが見解を伺う。
区長 防災訓練等で備蓄品購入費用等の助成制度の周知に努めてきた。さらに、備蓄物資のあつせん事業を行うなど、在宅避難促進を強化する。

ヤングケアラーの支援を

問 ヤングケアラー支援のための家事育児ヘルパーやスクールソーシャルワーカー活用について、当事者等どのように周知し、支援を届けるのか。
区長 来年度の重点施策で育児支援ヘルパーの派遣対象をヤングケアラーがいる家庭に広げるとともに、スクールソーシャルワーカーがより丁寧な支援につながるよう取り組む。



シビックセンター維持管理費について

問 平成24年度から令和2年度までの9年の間、シビックセンターの維持管理にかかった総額と平均額を伺う。
区長 維持管理費総額は光熱水費を含め約12億6千万円、平均額は年約13億5千万円である。

目白台運動公園を直営に

問 芝生等の管理について区から指定管理者に対して指導を行ったが、指導しなければ管理できないのであれば、運営を担う資格がないため、区直営に戻すべきと考えるが、見解を伺う。

委員会活動

常任委員会

総務区民

11月30日 報告事項5件

12月3日 報告事項5件

報告に対する主な意見等

●令和4年度重点施策について報告された。

このうち、ヤングケアラー支援に向けた連携推進事業について、自分がヤングケアラーと認識していない人がいると考えられるため、関係部署等が連携し、早期発見・支援につなげる方策を検討すること。

厚生

11月24日 報告事項4件

報告に対する主な意見等

●新型コロナウイルスワクチンの接種状況及び今後の体制について、追加接種（3回目接種）の見通しが報告された。高齢者の追加接種予約については接種日時・会場を指定してお知らせする方式を検討しているが、多くの予約変更希望が想定されるため、1、2回目接種時に地域活動センターで新規予約の代行・支援を実施したと同様に、予約変更についても支援すること。

建設

11月22日 報告事項4件

報告に対する主な意見等

●第11次文京区交通安全計画（素案）について報告された。本計画では日没時の前後や夜間の交通安全対策の推進等が追記され、ランドセルカバーを反射材付に変更するなどの対策がとられている。これらの取組に加え、自転車の交通量増加に伴う安全利用やマナーの周知徹底、ビッグデータの活用など、社会状況の変化等を注視し、交通事故防止に取り組むこと。

文教

11月25日 報告事項5件

報告に対する主な意見等

●文京区学習内容定着状況調査の結果については、学力下位層の子どもたちの自己肯定感や学習意欲等が、学力上位層に比べて低い傾向にあることから、各学校が児童・生徒の状況に応じて、きめ細かな指導を行うこと。また、全国学力・学習状況調査の結果では、新型コロナウイルス感染拡大による休校期間中、勉強に不安を感じたと回答した割合は低かったが、支援が必要な子どもに対しては、学校が家庭と連携して支援に取り組むこと。

●は、報告内容、審査の過程で出された主な意見・要望です。

を活用した立体都市公園を検討するなど、公園確保に向けた取組を強く期待する。

の評価結果については、コロナ禍で様々な制約があった中でも、各年齢層に対して工夫を凝らした事業を実施し、利用者間の交流を深めることができた。今後も、地域との関わりを密にしなが、事業を展開していくこと。

は、補助申請手続きの簡素化を図る等の検討を進めること。●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する対応について報告を受けた。

今後、区に縁のある代表選手が区内小中学校を訪問し、模範演技を披露すること等が計画されている。多くの子どもたちと触れ合う機会を創出することによって、子どもたちの心の中に刻まれるようなレガシーとすること。

るよう、事業者が整備を働きかけていくこと。●文京区災害廃棄物処理計画の素案が示された。応急集積所の設置時期や地区集積所の設置場所に関する点、分別せずにごみを出すこと、分別せずにごみを出すことなど、災害時のごみの出し方についてしっかりと区民に周知すること。また、ボランティアの受入れ方法に関する内容も計画に盛り込むこと。し尿処理に関しては、マンホールトイレの活用が最も衛生的と考えられるので、今後の公園再整備において可能な限り整備すること。また、下水道の耐震性など様々な課題もあるので、インフラ事業者が耐震化等の災害対策をとるよう、働きかけること。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの中核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

「文京区に児童相談所ができる」ということ」をテーマに、明星大学特任教授の奥田晃久氏を講師に迎え、研究会を開催した。

児童相談所と子ども家庭支援センターの違い、一時保護について、区内関係機関との連携、家庭養護への取組等に関する講義を受け、質疑を重ね理解を深めた。

児童相談所と子ども家庭支援センターの違い、一時保護について、区内関係機関との連携、家庭養護への取組等に関する講義を受け、質疑を重ね理解を深めた。

児童相談所と子ども家庭支援センターの違い、一時保護について、区内関係機関との連携、家庭養護への取組等に関する講義を受け、質疑を重ね理解を深めた。

児童相談所と子ども家庭支援センターの違い、一時保護について、区内関係機関との連携、家庭養護への取組等に関する講義を受け、質疑を重ね理解を深めた。



●文京区男女平等参画推進計画（素案）について報告された。固定的な性別役割の意識等をはじめとしたアンコンシャス・バイアスを無くしていくには、子どもの頃からの取組が重要である。知見のある大学と連携することによって、区内小中学校においてもジェンダー平等に関する授業を行う等の取組を進めること。※アンコンシャス・バイアス：無意識の偏見と思ひ込み。

●障害児通所支援等の申請に当たり、利用者からの相談を受け、障害児支援利用計画を作成するための指定障害児相談支援事業所が開設される。相談支援の充実を図ることはもちろんのこと、作成した利

●文京区公園再整備基本計画（素案）について報告された。人口増加の影響があるとは言え、区民1人当たりの公園面積が前回策定時から減少していることは大きな課題である。区内の大学・事業者等との連携によるグラウンドや公開空地の使用など、限られたスペースを最大限有効に活用していくこと。

また、この課題解決には、公園を創出していくという発想の転換が必要である。施設再整備や公有地活用検討の際には積極的に計画に関与するとともに、道路や建物の上部

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。



●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

●文京区立図書館の指定管理者の評価結果について、レファレンス業務は図書館サービスの核となることから、サービスの周知やガイダンスの実施等を通して、区民の満足度を高める取組を行うこと。

議会運営委員会

11月9日、11月22日、12月3日に開催しました。

●主な協議事項について

・11月定例会議会提案事項について

・議会議事録購入計画について

特別委員会

自治制度・地域振興調査

11月17日 報告事項3件

●飲食店テイクアウト・デリバリー支援事業の実施結果について報告された。

テイクアウトに使用する容器について、プラスチック容器はプラスチックごみが大量に出るため、環境に配慮した

●感染対策を講じながら消費者還元サービスを実施した店舗に対し補助を行う「文京ソコカラ」感染対策実施店舗応援事業について報告された。本補助事業を活用し、各店舗に事業を継続してもらうことが重要である。そのため、既に区において店舗情報等を把握している事業者について

災害対策調査

11月18日 報告事項2件

(1) 研究会の開催

「近年の気象災害の激甚化と気候変動」をテーマに、一般財団法人日本気象協会の鈴木靖氏を講師に迎え、研究会を開催した。

近年多発している極端な気象現象と水害・土砂災害のメカニズム、将来の地球温暖化予測とその影響評価に基づく適応策などについて講義を受け、気象災害とその備えについて理解を深めた。

子ども・子育て支援調査

11月16日 報告事項3件

(1) 報告に対する主な意見等

●令和4年4月の認可保育所の開設に当たっては、同建物内に設置予定の育成室と園庭を共有することが望ましい。今後、保育事業者や関係部署と協議を進め、園庭の有効活用を目指すこと。

また、近年の保育園増加に伴い、待機児童は減少している一方、今後は質の向上が求められる。保護者から選ばれ保育園になるよう、教育内容・体制等、区としてソフト面の支援を進めること。

●令和4年4月に区内7か所の民間児童クラブ（都型児童クラブ）が開設されることとなり、ニーズの高さを実感する。今後は、空白地域がなくなる

公職選挙法により、議員が、選挙区内の人や団体に対し、年賀状等の挨拶状（答礼のための自筆によるものは除く）を出すことは禁止されていますので、ご了承願います。

委員会会議録速報版をチェック! QR code and text about the committee meeting minutes.

総務区民委員会 研究会 (令和3年10月25日) 講師・株式会社MAI A 代表取締役 月田 有香氏



「文京区に児童相談所ができる」ということ」をテーマに、明星大学特任教授の奥田晃久氏を講師に迎え、研究会を開催した。